

横浜市ふるさと歴史財団 8 施設連携展示

ハマを駆ける クルマが広げた人の交流 同時開催

神奈川新聞社125周年記念・戦後70年

写真展

横浜の戦災復興

2015年7月18日|土|～9月23日|水・祝|



米軍兵舎の並ぶ吉田町周辺 昭和 20 年代 神奈川新聞社撮影

横浜市は、横浜大空襲をはじめとする空襲被害ばかりではなく、戦後も市の中心部を占領軍に約 10 年間接収されるなど、戦争の影響を大きく受けました。

当時、市民はいかに戦後の難局に立ち向かい、復興を果たしたのでしょうか。

戦後直後から復興までの横浜市のあゆみと市民生活にスポットを当て、当財団が所蔵する写真資料および今年創立 125 周年を迎える神奈川新聞社が撮影した写真資料 31 点を通して紹介します。

- 1 **展示名称** 神奈川新聞社 125 周年記念・戦後 70 年 写真展 横浜の戦災復興
- 2 **開催期間** 平成 27 年 7 月 18 日（土）～9 月 23 日（水・祝日）
（開催日数 59 日）
- 3 **主 催** 横浜都市発展記念館
共 催 神奈川新聞社
- 4 **会 場** 横浜都市発展記念館 1 階ギャラリーおよび旧第一玄関
- 5 **開館時間** 午前 9 時 30 分～午後 5 時、毎週水曜日（祝日を除く）は午後 7 時まで開館
＊券売は閉館の 30 分前まで
- 6 **休 館 日** 毎週月曜日および 7/21（ただし、7/20、9/21 は開館）
- 7 **入 館 料** 無料
- 8 **展示構成・資料**

I. 戦後横浜の復興までの歩み（展示会場：ギャラリー）

- コーナー趣旨：終戦直後から復興に至る横浜市の風景写真を展示し、どのような変遷を経て街が復興していったのかを紹介する。
- 展示テーマ：終戦直後の横浜市内／占領軍の進駐と接收下の横浜／接收解除後の関内地区／戦災復興建築物の建設／造船業の復興／ワンマン道路と横浜新道の開通／根岸湾埋立てと根岸線の開通

II. 戦後横浜の市民生活（展示会場：旧第一玄関）

- コーナー趣旨：戦後の横浜における市民の暮らしが把握できる写真を展示し、戦後生活の困難と復興に向かう市民の姿を紹介する。
- 展示テーマ：露天・ヤミ市／バス住宅・壕舎生活・水上生活／占領軍との交流／復興する商店街／野毛山遊園地



大日通商店街復興 5 周年祭

1954(昭和 29)年 8 月 5 日 神奈川新聞社撮影



国鉄根岸線開通式

1964(昭和 39)年 5 月 19 日 神奈川新聞社撮影

9 関連事業（実施主体：神奈川新聞社）

- ・神奈川新聞社連載記事「モノクロームのころ」およびウェブサイト・「カナロコ@アーカイブ」に、本展示と連動した内容の記事・コンテンツを掲載
- ・展示会場で、「モノクロームのころ」バックナンバーを展示
- ・展示写真の現在の様子が把握できる定点写真が閲覧可能な「カナロコ」特設サイトの設置

お問い合わせ先		
横浜都市発展記念館	西村健（展示）、神谷量子（広報）	Tel 045-663-2424